

じっと、春を待つ



昨年10月末に種をまいた大根。



昨年10月末に苗を植えたキャベツ。葉が巻き始めています。



エンドウ豆は、小さいまま冬を越します。5月から6月頃収穫の予定。



昨年9月末に植えたニンニク。収穫は6月頃。

この冬は暖かい日が多いからでしょうか、白菜を収穫していると、中から小さな小さなくり虫みたいな虫が、ポロポロと出てくることがありました。外側の葉をめくると、ポロポロ…。また一枚めくると、ポロポロ…。そして、白菜の中を食べている！ 寒ければこんなことにはならなかったのかなあ…なんて思いながら、収穫しています。

畑を見渡すと、気の早いたんぽぽが3つ、もう花を咲かせていました。冬越しをするタマネギやエンドウ豆の回りにも草が伸びてきて、いつもなら3月になってからするのですが、今年はまだ、草取りを始めています。気象庁の3カ月予報によれば、2月も全国的に気温は高く、12月からの暖冬・小雪が続くとか。春に収穫するつものキャベツがもう、巻き始めていたり、大根が予想以上に大きくなっていたりしています。

それでもやっぱり冬は寒い。

霜にあたって甘くなる



ハウレン草



冬の日の朝は、霜でまっ白。

ハクサイ

1月7日は、この冬3回目の積雪。畑には15センチ位積もりました。重い雪だったので、ハウスの上に積もった雪の雪下ろしをしました。スコップで道路の雪かきもしたのですが、せっせとしたら足の指までほかほかになりました。

その日の夕方、タクト君がなかなか家の中に入ってくないので、外をのぞいてみると、家の回りのあちらこちらに、何十個ものミニ雪だるまが並んでいました。夕暮れの薄明かりの中にうかぶ、たくさんのSnowmen。ちょっと幻想的で、すてきな雪の日の夕暮れでした。次の朝、車のライトの中にうかぶたくさんのSnowmenに、新聞配達の人、一瞬、ハッとしたかしら…?

こんな日は、ハウレン草も雪の下。

冬と言えばネギ。大根や人参、白菜、鶏肉、あげなどと一緒に、たっぷりのネギを入れたうどんは、うちの人気メニュー。「今日はどうだよ」と言うと、「やった〜!」という声が返ってきます。いつものジャガイモ、タマネギ、人参のスープにも、ネギを入れて煮るととろっとした感じがいい感じ。ジャガイモとネギだけのポタージュスープもおいしかった…。

わが家の人気メニューや、おすすめレシピ、うちではいつもこんな風にして食べているんですよ…という、おいしい食べ方の工夫を教えてください。畑便りで紹介させていただきます。

たくさんの皆さんの声をお待ちしています。

